

# 社会福祉協力校実践報告

## 騎西町立騎西中学校

### 一 はじめに

本校の福祉教育の重点目標は、「全ての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成を目指す」ことである。その実現のためには、生徒同士が協力して活

動したり、校内・校外を問わず、体験する機会を提供していくことが重要である。特に、生徒たちが学校外に出て、様々な人たちと関わる中で学ぶことは少なくない。

本校では、生徒会・専門委員会が福祉活動の中心となっており、ボランティア活動の中



騎西養護学校 夏祭りボランティア

心となって活動したりしている。今回は、生徒の活動の一部を紹介する。

### 二 主な広報・体験活動

- ・ボランティア体験（騎西養護学校、その他の施設）
- ・友情の絵はがきの購入
- ・書き損じはがきの収集
- ・緑の羽根・赤い羽根募金
- ・ユニセフ募金
- ・ソーラン節
- ・環境整備活動

騎西養護学校ボランティア毎年、夏祭りとは文化祭に参加している。今年度は、夏祭り・文化祭を合わせて五十名程の生徒が、祭りの準備・後片づけに参加し、有志で、ソーラン節を披露した。

《ボランティアを体験して》  
三年 岡安知美

初めてのボランティア活動で戸惑いましたが、他のボランティアの人たちと協力して作業でき、良い体験になりました。

二年 石川正明

教えることもあったけど、教えてもらうこともありました。皆楽しい表情をしていて、僕も楽しかったです。



ソーラン節

### 募金活動

募金活動は、緑の羽根募金、赤い羽根募金、ユニセフ募金に毎年取り組んでいる。赤い羽根街頭募金は、生徒が地域に出向いて、民生委員の方々と共に活動する貴重な体験となる。また、今年度は、赤い羽根募金の一環として新潟中越地震義援金に取り組み、今までにない募金を集めることができた。

本校では、各委員会が月単

位の強化月間を設定している。二月の集会では、奉仕委員会が全校生徒を前に手作りの資料や情報を提示し、募金を呼びかけた。昨年末に起きたスマトラ沖地震・津波の被害からの復興に少しでも役立てればと「皆で協力し、世界に奉仕しよう」をスローガンに、ユニセフのスマトラ沖地震・津波緊急募金に取り組んだ。

《一年間の活動を通して》  
奉仕委員会委員長 坂本一樹

僕たちは、募金活動を中心に取り組みました。新潟中越地震での義援金の呼びかけでは、たくさん募金が集まり援助することができました。また、委員長として、皆をまとめることができて、とてもうれしく思いました。

### 環境整備活動

通常は、整美委員会が中心に活動している。今年度は、委員会の生徒だけでなく、呼びかけに賛同したボランティアの生徒も参加し、校舎周りにパンジーの苗を植えた。

### 三 終わりに

今後も、生徒会・専門委員会を中心とした福祉活動を活性化させ、生徒が福祉に対する理解を深め、主体的に考えて行動する姿勢を育んでいきたいと考えている。